

除雪の状況について

Q. 自宅の除雪は誰が行なっていますか。【複数回答】

同居の家族……68.1%

自分で ……………58.2%



現在は自宅の除雪は自分または家族が行なっていると答えた方が半数を超えていますが、今後の少子高齢化・人口減少等の理由により隣近所や業者、親戚等にお願ひしなければならない方が増えていくと予想されます。自宅の除雪に加え地域の公民館等の除雪についてもその対策を考えていく必要があります。

Q. 今後、数年の間に自力で除雪が困難な世帯が近隣に出てきた場合、あなたはどのような対応ができますか。

手伝うのは不可能 ……………42.7%

無償ボランティアで手伝ってもよい ……………22.0%

1時間800～1,000円程度の賃金等があれば手伝ってもよい ……………18.9%

約4割の方が「手伝うのは不可能」と答えており、冬期間の除雪等に対する対応が困難になっている状態が感じられます。また、無償ボランティア、有償ボランティアについては、それぞれ22.0%、18.9%と合すると40.9%の方が何らかの形でお手伝いできると答えていることから、地域内または町内における除雪ボランティアなどの展開についての検討の必要があります。

人口減少や過疎化について

Q. 人口が減少している原因は少子高齢化以外に何と考えますか。

その他：買い物する場所が少ないから ほか

19.1%

雪が多いから

16.8%

64.1%

働く場所（職種）が少ないから

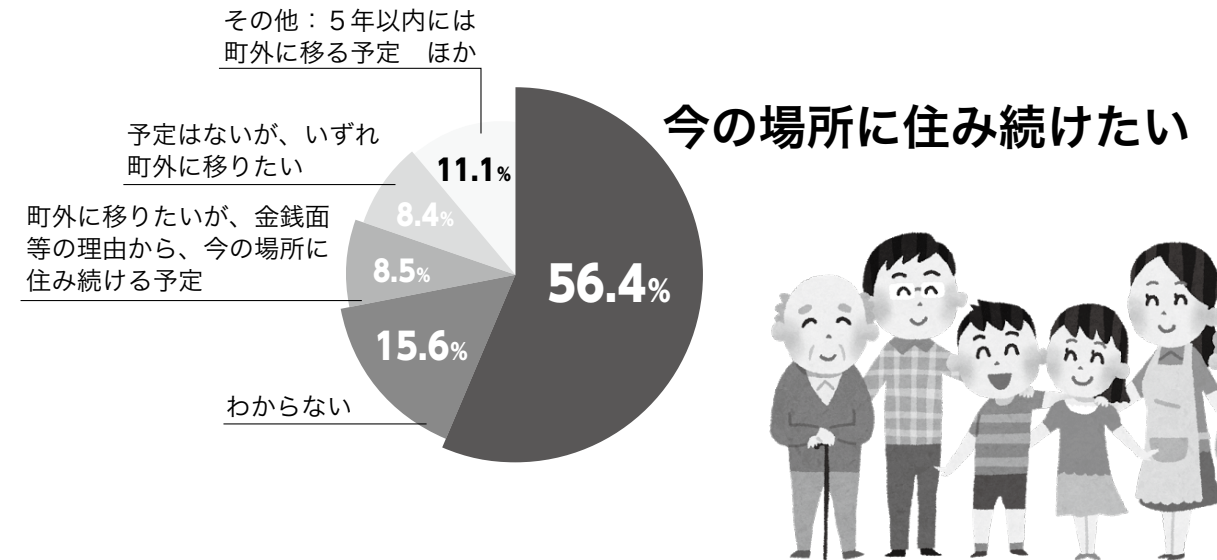


人口減少の原因に「働く場所（職種）が少ないから」と答えた方が全体の6割以上で、次に「雪が多いから」という答えが続きました。この結果は、4地区においても同様の結果となっています。

働く場所（職種）については、最上地域にある企業や産業について知っていただき、地元への就職を含め、将来の選択肢を広げていけるよう、小学校、中学校、高校、大学と年代にあった取り組みを移住、定住と共に展開していきます。

今後の定住、移住について

Q. これからも舟形町に住み続けたいと思いますか。



半数以上の方が今の場所に住み続けたい、または町内での移動と回答しています。地区別では、富長地区が60.4%と最も高く、次いで堀内地区が57.0%、長沢地区が56.9%、舟形地区が54.4%でした。舟形町を愛し、これからも住み続けていただけるために豊かなまち舟形を目指していきます。

Q. 「予定はないが、いずれ町外に移りたい」「5年以内には町外に移る予定」と答えた方で、町外に移る理由は何ですか。

その他：生活・住宅環境がよくないから、人間関係などがわずらわしいから ほか

除雪が大変だから

28.3%

50.0%

交通が不便だから

就職先がない、勤務地が遠方だから

11.5%

10.2%



除雪、交通については、家庭や地域だけでは対応できない課題であるため、現在多くの町内会で取り組んでいる地域支え合い除雪体制や有償による除雪ボランティアの展開、乗合タクシーの充実について検討していきます。